

標準委員会 システム安全専門部会 炉心燃料分科会
第4回 (S1SC4) 議事録

日 時： 2010年9月10日(金) 13:30～16:30

場 所： 東京都 日本原子力技術協会 A、B会議室

出席者： 阿部(弘)主査、馬場副主査、矢野幹事、巻上 BWR 幹事、西川 PWR 幹事、有田委員、岩本委員、加藤委員、河村委員、杉山委員、関委員、玉置委員、土内委員、長谷川委員、久持委員、森下委員 計 16 名

常時参加者： 大平、小野、高野、中島、平川

(敬称略)

配布資料：

- S1SC4-1 第3回分科会議事録(案)
- S1SC4-2 評価項目及び損傷モードの説明について(燃焼度伸長)
- 参考1 「原子力発電所における少数体先行使用燃料の導入に係る実施基準：20XX(仮称)」の骨子案について(まとめ)
- 参考2 「沸騰水型原子炉に用いられる9行9列型の燃料集合体について」
- 参考3 「燃料関連指針類における要求事項の整理ならびに明確化について」
- 参考4 今後のスケジュール案
- 参考5 システム安全専門部会における標準策定スケジュール(案)

議事及び主な質疑応答

1 出席者確認

幹事より出席者数を確認し、本分科会の定足数を満たすことが報告された。

2 資料確認

幹事より議事次第に基づき、配布資料の確認を行った。

3 前回議事録(案)の確認について(S1SC4-1)

幹事より、第3回議事録(案)について報告され、承認された。

4 LUA標準案の検討

(1) LUA標準としての安全評価方法について(S1SC4-2)

資料 S1SC4-2 に基づき、燃焼度伸長の L U A を導入する際の評価項目及び損傷モードに対する具体的な説明方法の例について、大平氏より説明され、議論を行った。

その結果、上位概念を整理抽出できるように、新材料導入についても、燃焼度伸長と同様に説明方法案をまとめ、これらを合わせて整理していくこととした。

なお、具体例については、基準の文案をイメージできるようにさらにわかりやすい資料をしめすこととした。また、少数体数を取扱うという観点における関連する法律との整合性について整理を進める。(条件付導入の可能性、体数制限と少数体の破損、使用前検査など) リスクのとり方(リスクを最小にするための概念としての体数や装荷位置の考え方)に関する議論も継続する。

5 その他

次回開催日は、11月15日(月)午後とし、場所等は別途メールで連絡することとした。

以 上